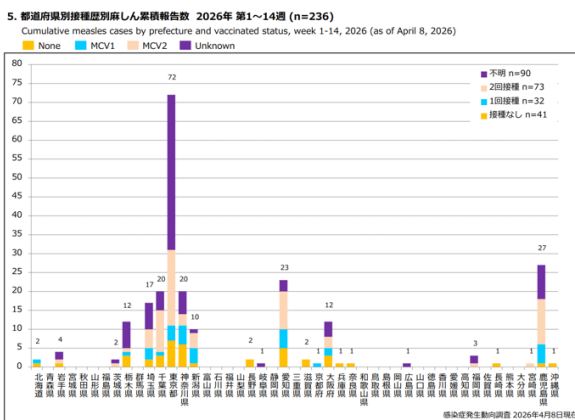
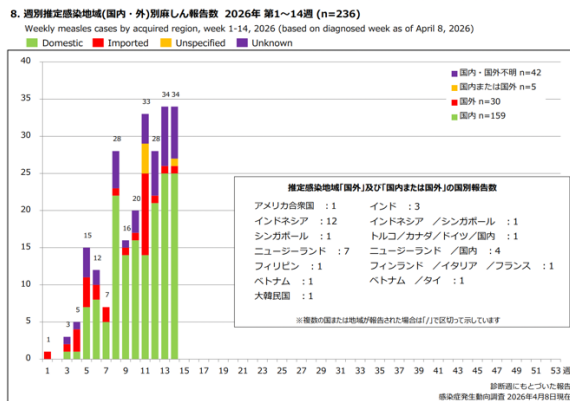
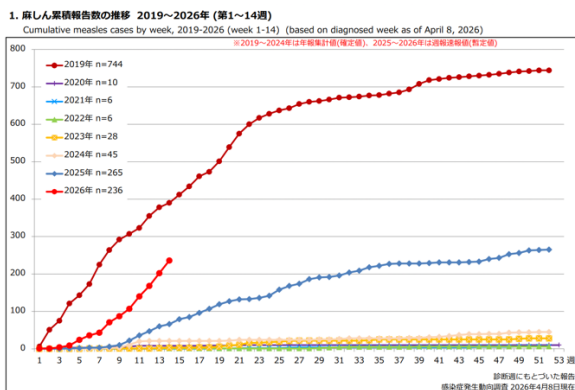


① 麻疹（第14週、2026.4.8）



2017年：186例 2018年：279例 2019年：744例 2020年：10例 2021年：6例  
 2022年：6例 2023年：28例 2024年：45例 2025年：265例  
 2026年（第1-14週）：236例

岐阜県

2026年第9週に予防接種歴不明の検査診断例1例

2026年第1～14週に診断された麻疹の累積報告数（2026年4月8日現在）は236例であり、2020～2025年のいずれの年の同期間累積報告数も上回った。診断週別にみると、第1～4週は0～5例であったが、その後報告数は増加し、第11週以降は28～34例で推移するなど、直近では高水準の報告が続いている。

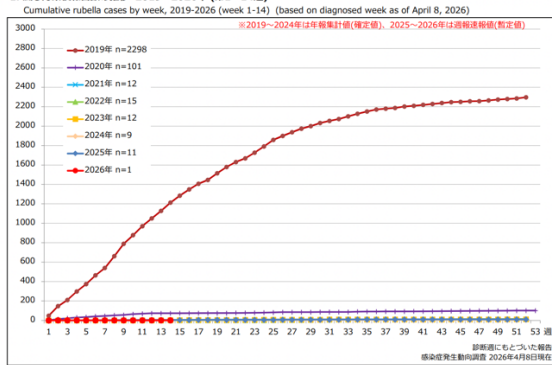
報告された236例のうち、234例が届出に必要な病原体診断を満たした検査診断例であり、うち、主たる臨床3症状（発疹、発熱、カタル症状）すべてを満たす典型的な「麻疹」が161例、臨床3症状のうち、1つもしくは2つを満たす「修飾麻疹」が73例であった。性別では男性158例、女性78例であり、年齢中央値は27歳（範囲0～65歳）であった。23都道府県から報告があり、都道府県別の報告数は、東京都で72例、鹿児島県で27例、愛知県23例、千葉県および神奈川県で各20例の順が多かった。都道府県別にみると、第11週以降は東京都および鹿児島県で大幅な報告数の増加がみられた。推定感染地域は国内が156例（うち都道府県不明22例）、国内・国外が5例（千葉県/ニュージーランド4例、愛知県/トルコ/カナダ/ドイツ1例）、国外が30例（インドネシア12例、ニュージーランド7例、インド3例、韓国1例、シンガポール1例、フィリ

ピン1例、米国1例、ベトナム1例、インドネシア/シンガポール1例、ベトナム/タイ1例、フィンランド/イタリア/フランス1例)、国内・国外不明が45例であった。医療機関や保健所等により収集されたワクチン接種歴について、1～5歳(第1期定期接種済み年齢群)と、6歳以上(第2期定期接種済み年齢群)に分けて接種歴を整理したところ、1～5歳の8例では、接種歴なしが6例、1回が2例であった。一方、6歳以上の226例では、接種歴なしが33例(15%)、1回が30例(13%)、2回が73例(32%)、不明が90例(40%)であった。2回接種歴ありの73例のうち麻しんは33例、修飾麻しんは40例であった。接種歴なしの39例は全て麻しんであった。典型的な麻しんでは接種歴のない症例が多くみられた。なお、2回接種歴のある麻しん症例も一定数報告されているが、接種回数別の症例数のみを単純に比較してワクチン接種の有益性を評価することはできない。特に若年層では2回接種歴のある者が接種歴のない者を大きく上回っていることを踏まえると、2回接種者では麻しんの発症リスクは相対的に低いと考えられた。我が国では、麻しんに対する定期接種が1978年に開始され、2006年度からは現行の定期接種スケジュールである麻しんの第1期および第2期の2回接種が実施されている。

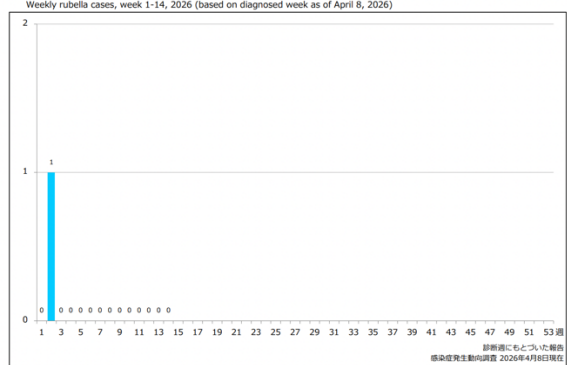
麻しん患者の報告がある地域や海外渡航者を診察する可能性のある医療機関においては、院内感染対策のさらなる徹底が重要である。また、麻しん患者とその接触者と接触する機会がある事務職員等を含む病院関係者全員へのワクチン接種歴・罹患歴の調査や、必要に応じたワクチン接種が推奨される。また、麻しん患者との接触があった者に対しては、接触後72時間以内であれば発症予防の可能性のあることから、ワクチン接種を検討することが重要である。さらに、麻しん患者との接触のある者が発熱などの体調不良を自覚した場合には、二次感染防止のため、麻しんの可能性があることを事前に医療機関に電話で伝え、可能な限り公共交通機関の利用を避けた上で受診することが重要である。

## ② 風疹（第14週、2026.4.8）

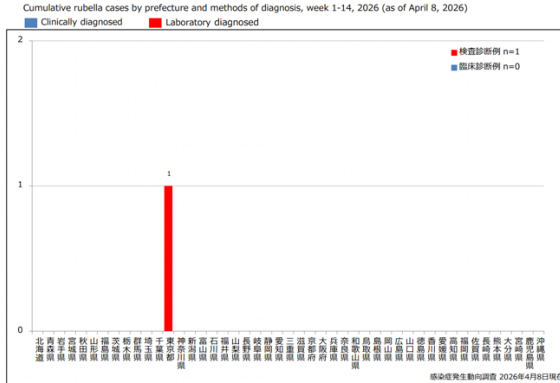
1. 風しん累積報告数の推移 2019～2026年（第1～14週）



2. 週別風しん報告数 2026年 第1～14週 (n=1)



4. 都道府県別病型別風しん累積報告数 2026年 第1～14週 (n=1)



2019年：2298例 2020年：101例 2021年：12例 2022年：15例 2023年：12例  
 2024年：7例 2025年：11例  
 2026年：1例（第1-14週）

最新週の報告（第14週）0例

岐阜県では2024年の第12週に52歳男性の予防接種歴不明の検査診断例1例

CRS（先天性風疹症候群）発生報告

2021年の2週大阪の男児の報告以後なし

会員向けに伝達すべき感染症情報

- ・麻しん

感染症発生動向調査等に関する詳細な情報と最新の状況については、以下を参照いただきたい（2026年4月10日現在）：

- 国立健康危機管理研究機構 麻疹  
<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/measles/index.html>
- 厚生労働省 麻疹（はしか）  
[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html)
- 麻疹の発生に関するリスクアセスメント（2026年4月10日更新）  
<https://id-info.jihs.go.jp/risk-assessment/measles/index.html>
- 麻疹 発生動向状況 速報グラフ  
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/archive.html>
- 麻疹対策・ガイドラインなど：麻疹発生状況に関する注意喚起  
<https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/index.html>
- 厚生労働省 麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001655886.pdf>
- 厚生労働省検疫所 海外渡航のためのワクチン（予防接種）  
<https://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>
- 外務省 海外における麻疹（はしか）に関する注意喚起（2025年3月28日更新）  
[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo\\_2025C011.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2025C011.html)
- 麻疹及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種勧奨並びに麻疹及び風しんの任意接種に関する案内等について（依頼）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001684748.pdf>
- 麻疹を疑った際の対応  
<https://dcc.jihs.go.jp/information/pdf/mashin20260327.pdf>
- 麻疹風しん混合（MR）ワクチン接種の考え方  
[https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/MRvaccine\\_20180417.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/MRvaccine_20180417.pdf)
- 医療機関での麻疹対応ガイドライン 第七版（2018年5月）  
[https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical\\_201805.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical_201805.pdf)
- 麻疹発生時対応ガイドライン〔第二版：暫定改訂版〕  
[https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical\\_201805.pdf](https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical_201805.pdf)
- WHO Immunization data - Provisional measles and rubella data  
<https://immunizationdata.who.int/global?topic=Provisional-measles-and-rubella-data&location=>
- European Region reports highest number of measles cases in more than 25 years – UNICEF, WHO/Europe, 13 March 2025 (WHO)  
<https://www.who.int/europe/news/item/13-03-2025-european-region-reports-highest-number-of-measles-cases-in-more-than-25-years---unicef--who-europe>
- PAHO calls for regional action as the Americas lose measles elimination status  
<https://www.paho.org/en/news/10-11-2025-paho-calls-regional-action-americas-lose-measles-elimination-status>